

平成16年1月13日

No.10

発行／北但西部森林組合 美方郡村岡町和田233-1 ☎0796-95-0511



村岡町 緑の少年団による記念植樹



- 公益機能に貢献する森林づくりに……2
- 「GPS」の活用で……2
- 事業協同組合「但馬材林産加工センター」……3
- 「但馬材」で丸棒生産に……3
- 地域林業活性化に向けて森林組合の取り組み……3
- 今こそ補助事業を利用して森林整備……3
- 北但西部地域森林施業体系図（スギ）……5
- 林研グループ活動……7.6
- 春の叙勲……8
- 大好き花づくり……8
- 緑の少年団交流大会……8
- 組合員の名義変更……8
- その他……8

もくじ

# 公益的機能に貢献する



代表理事組合長 吉田二雄

## 森林づくりに もり

新年あけまして、おめでとうござります。

組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、新年をお迎えになりましたことを心からお慶び申し上げます。

北但西部森林組合が設立して、昨年十月で、満三十二年目を迎えました。当時は、減反政策で不便な水田に、スギ、ヒノキが植付され、現在六令級余の林になつております。今は、当時と比べて木材価格が大幅に下落し、従つて森林に意欲を燃やす人が少くなつて来たことは、心淋しく、森林が荒廃していくのではないとかと案じられます。

昨年の月末、私は四国霧島八十八ヶ所巡拝しました。四国四県は森林王国であり、山の頂上まで見渡す限りのスギ、ヒノキの造林地であり、森林に関心を持つ私は、この光景を見て感動と不安を抱きました。果して、広大な造林地が充分な手入れがいかと・・・。

昨年のコメの作況指数は、全国平

均九〇で不作の年でありました。地州は記録的な高温で、日本は冷夏、欧洲では熱暑で穀物の収穫量が減収しました。

地球の温暖化防止策として、京都議定書に基づいて、日本は二酸化炭素などの温室効果ガス六%削減の内、三・九%は森林吸収分として見込んでおり、公益的機能を果す森林の役割はますます重要であり、「スギの育林マニュアル（森林施業体系図）」を策定しました。今後は、一〇〇年生以上の長伐期を目標として、このマニュアルによつて、管内のスギ林が「但馬材」として、価値の高い優良材を生産することによって、地域の活性化を考えいかなくてはなりません。

林として維持管理することが、重要な課題となつて来ました。

今まで、森林は経済的価値として重宝されて来ましたが、今は木材の輸入の増加で、国産材の自給率は一八・四%余で木材価格は低迷して

おり、これらが要因で森林離れをする森林所有者が増加しております。祖父父等が、後継者のために、汗をだしながら一生懸命に情熱を燃やした造林地をもう一度見直しする必要があります。

県においては、一昨年から「新ひょうご森づくり」の一環として、森林管理一〇〇%作戦事業として、間伐

がおくれているスギ、ヒノキ林を公的資金で森林整備をし、森林所有者に負担なしで事業を進めております。

間伐の推進と合わせて、林内に作業道の開設により、搬出コストの削減で、外材に対抗することも課題の一つであります。

今後、どのような森林整備をすることがいいのか、この課題に対しても、

県村岡森林整備事務所のご指導を受けながら、北但西部森林組合管内の

「スギの育林マニュアル（森林施業体系図）」を策定しました。今後は、

一〇〇年生以上の長伐期を目標として、このマニュアルによつて、管内のスギ林が「但馬材」として、価値

の高い優良材を生産することによつて、地域の活性化を考えいかなくてはなりません。

最後に、この地域の森林が甦ることにより、公益的機能を發揮し、経済的価値のある森林を目標に、組合と組合員とが共に歩んでいきたいと存じます。

皆様のご多幸を祝福申し上げます。



杉の美林

## 「GPS」の活用で!!

最近「GPS」の言葉をよく聞く。日本近海の不審船に、「GPS」が設けられていたり、又東北地方では、六ヶ月余り林内放牧されている牛の居場所を確認するために牛に「GPS」を取り付けているとのこと。

「GPS」とは（衛星利用測位システム）米国防総省などが軍事目的で開発した。複数の衛星から発する電波信号によつて地上の正確な位置情報を得ることができます。

日本においても各分野において活用されています。

山村において、過疎、高齢化により不在山林所有者が増加している。従つて所有山林の確認、境界が判らなくなり、これらの対応として、画定させる際に、目印となる杭などの位置が不明になるケースが増えている。この対策として、このたび森林組合においても「GPS」器具を導入しました。今処は、所有山林の位置の確認に活用しておりますが、将来は民有林の境界線を「GIS」で図面化するように、取組んでいきたいと考えています。

### 表紙写真説明

村岡町緑の少年団（村岡、兎塚、射添小学校）、毎年桜の苗木を卒業記念植樹として大糠地区の山林に地植、植樹については村岡町林業研究グループ員がボランティア活動している。

## 「但馬材林産加工センター」 (仮称)

但馬地域七森林組合は、但馬の森林保全・整備には、間伐の推進と間伐材利用が緊急の課題であり、これを実現するための拠点施設を整備することを目的として、事業体を組織（資本金四千万円）し、平成十七年四月に丸棒加工施設が稼動予定です。

### 「但馬材」で 丸棒生産を

但馬地域の間伐材を有効活用するため、平成十七年四月に稼働する丸棒製品加工工場建設の準備を進めています。

但馬産材で作つた丸棒は、但馬の土木資材、造園、構築物等に使われると共に、但馬の森林が整備され健全に育つことにもつながり、出来れば間伐材が搬出され、流域での木材が利用されることを望むところです。

木材価格の低迷

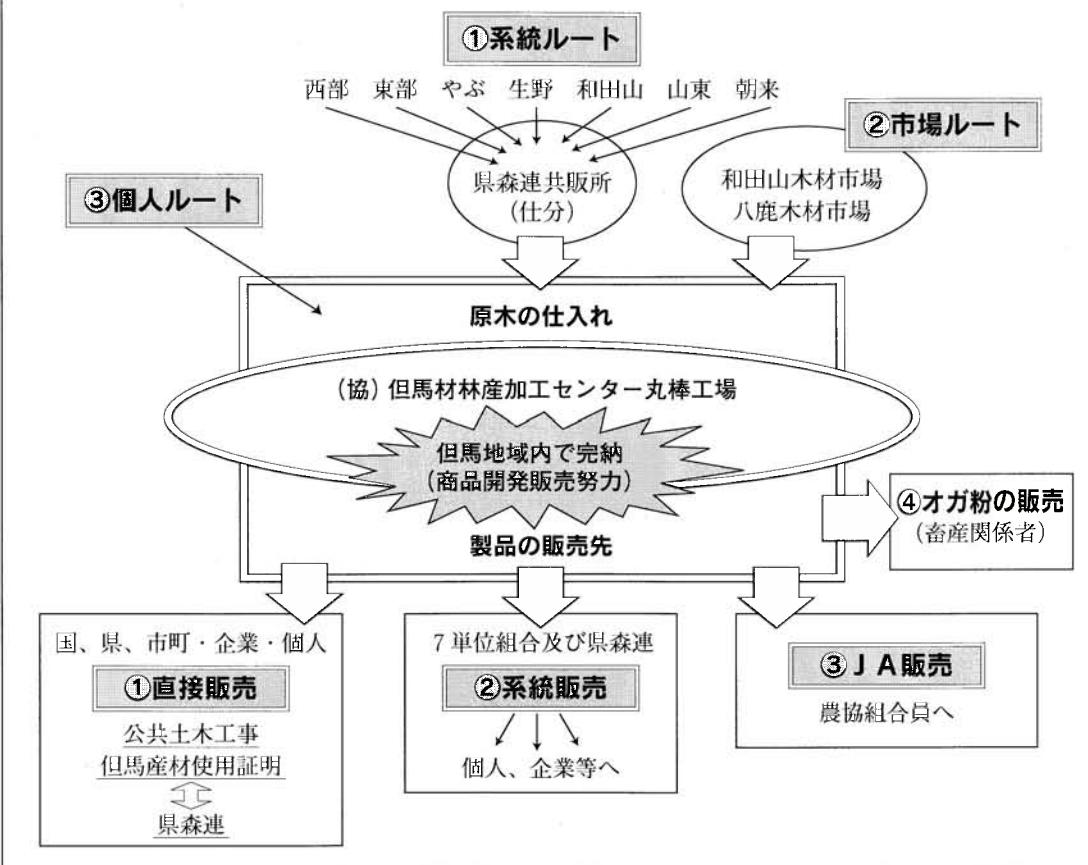
が続く中で、原材料の集荷体制、丸棒商品開発、公共



工事抑制で、景気回復が見込めない状況で前途多難の船出となりそうですが、但馬の森林組合が一丸となつて、今、立ち上らなくては、但馬の林業は衰退してしまい、「但馬材」の

明日は無くなるのではないかと案じられます。地域の材は、地域で活用することにより地域に貢献出来ます。地域の方々のご協力をお願いします。

事業協同組合 但馬材林産加工センター 丸棒加工（集荷一加工一流通）ルート図



作業道整備に伴う  
奨励金の制度が5ヶ  
年延長

奨励金の額  
(1m当り)

簡易作業道  
幅員1.5~2.5m  
500円

普通作業道  
幅員2.6~3.0m  
1,000円

詳しくは組合にお  
問い合わせください。

管理  
業務執行体制を強化し経営の合理化に努め、労働条件の改善と雇用の安定、人材の育成確保と労働安全対策に徹する。

造林、利用  
間伐の推進と合わせ作業道開設による基盤整備を図る。森林の長期施業委託、管理の推進。森林国営保険の加入で災害による損害に対処する。

栽培  
優良品種の山行苗木の生産と供給・林業用資材の斡旋を行う。

販売  
高性能林業機械による収入間伐の生産体制を確立し但馬材の加工、販売、流通に取り組む。木材チップ生産により未利潤資源を循環活用する。

指導  
森林管理体制の確立と林研グループ・生産森林組合等の育成や技術指導を行う。

### 地域林業活性化に向け 森林組合の取り組み

今

## 森林が荒廃しつつある

故郷離れて二十年、父の残した山林を見て「嘆然」とする。

今まで「苗木を植えておけば自然に木が育つ」ものと信じていた。林内は、密林のようになつてしまつた。下草もなく、環境としては最悪の状態であり、人が手を入れないといい林が出来ないと初めて知り、グループを募り、森林ボランティア活動を始める。

(リーダーメッセージより)



雪害による杉分

# 今こそ補助事業を利用して森林整備を

県村岡森林整備事務所 高山

勉

ご承知の通り、昨年度より県と各町が協力して従来の補助金に上乗せし、45年生までの切り捨て間伐が所

有者負担金なしとなつています。(事業名・環境対策育林事業、31～45年生は対象外の地域あり)。つまり45年生までは「保育」の時期といふことで、行政で負担していくこうということです。

この環境対策育林事業は、平成十四年から十年間の予定です。十年間で二回まで間伐が行えます。北但西部森林組合はこの事業期間中に、森林整備地域活動支援交付金なども活用して、各組合員さんの所有林の状況を把握し、将来に備えています。

(五ページ)に掲載しているものは、北但西部地域のスギ育林体系図です。高齢林の板材(柱、梁など)を目的とした「長伐期大径材生産」のモデルとなります。

四〇年くらいで伐採し、再び植林というサイクルでは、裸地による土壤の流出や下刈りの経費がかさむことなどで、得策とは言えなくなりました。今は補助事業を最大限に利用

して頂き、保育経費ができるだけ抑え、長伐期に持つていくのが得策でしょう。



スイングヤーダによる集材



間伐後の林内

林齢が若く切り捨て間伐を行う場合には、作業道は特に必要としませんが、林齢が高くなつてくると、このように作業道開設と収入間伐を同時にい、その後は収入間伐を繰り返すことで経常を続けて頂ければと考えます。北但西部森林組合でも、組合独自の「作業道整備促進対策事業」で作業道開設を強力に推進しています。道がないと材が山から切り出せません。

### 環境対策育林事業実績

単位 ヘクタール

| 町名  | 平成14年度 | 間伐件数 | 平成15年9月末 |
|-----|--------|------|----------|
| 香住町 | 43.55  | 59   | 37.00    |
| 村岡町 | 88.62  | 42   | 70.00    |
| 美方町 | 61.98  | 76   | 35.00    |
| 温泉町 | 83.14  | 59   | 110.00   |
| 浜坂町 | 89.14  | 40   | 80.00    |
| 計   | 365.72 | 276  | 332.00   |
| 計画  | 500    |      | 430      |
| 達成率 | 73.14% |      | 77.20%   |

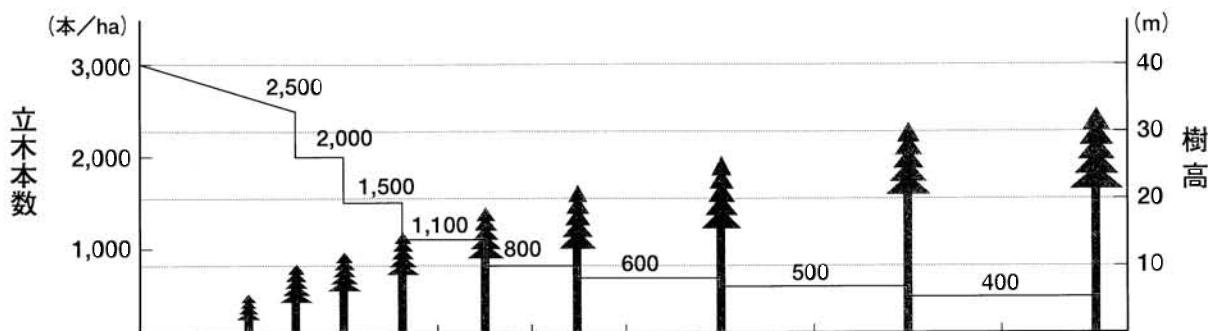
写真は村岡町内の75年生のスギ林(品種は妙見杉)です。平成十四年に作業道をつけ、同時に収入間伐を行っています。写真の重機にはウインチがついており、集材が行えます

(スイングヤーダといいます)。今回四〇%弱と強度の間伐を行っていますが、强度間伐を行うと、伐採作業、集材作業が容易になるだけでなく、今後林床の広葉樹の成長が促進され、水、上の保全など公益的機能の高い森林になると考えられます。

## 良質材を目指すために

これから森林は、環境林としての森林整備を行って林床植生を豊かにし、水源涵養機能等の公益的機能を高めることが重要視されていますが、本来の経済価値についても決して忘れてはなりません。そのため、県村岡森林整備事務所職員と森林組合とで、「北但西部地域施業体系図（スギ）」を作成しました。この地域においては長伐期、大径木を目標に施業することが望ましいのではないでしょうか。森林保全整備においては、補助事業と合せて、労務については森林組合が実施しますので、健全な森林に育てていただくことを望みます。

北但西部地域施業体系図 スギ



|     |            |                                   |
|-----|------------|-----------------------------------|
| 見込み | 林 齢(年)     | 10 15 20 27 30 35 45 60 80 100    |
|     | 平均胸高直径(cm) | 8 13 17 21 24 26 30 34 47 52      |
|     | 平均樹高 (m)   | 6 9 12 15 17 19 22 26 31 33       |
| 保育  | 枝打回数       | 1 2 (3) (4)                       |
|     | 枝打高(m)     | 裾枝払 2 4 (6) (8)                   |
|     | 除間伐        | 除伐 除伐 間伐 間伐 間伐 間伐 間伐 間伐 間伐 もしくは皆伐 |
| 間伐  | 間伐本数       | 500 500 400 300 200 100 100       |
|     | 間伐率(%)     | 20 25 27 27 25 17 20              |
|     | 50m³当たり本数  | 10 7.5 5.5 4 3 2.5 2              |

### スギの施業体系図の説明

- ◎植付本数は3,000本程度とし、出来れば早くから裾枝払することにより、根曲り防止にもなる。
- ◎15年生で2,000本とし、枝打ちは地上4mまでとする。
- ◎35年生で800本とし、枝打ちの高さ8mまでとする。胸高直径26cmとなり、これ以後の間伐は材を木材市場へ搬出したい。
- ◎45年生で600本
- ◎80年生400本
- ◎100年生で間伐又は、皆伐する。林地が肥沃地であつて成長が旺盛であれば、100本間伐して、残木本数を300本程度にして、150年まで育てる。
- 除伐（15年生まで）、間伐するときの選木において留意する点は、欠損木、病害木、花粉の着花の多い木、胸高直径が著しく太い木等を選ぶことである。
- 除伐又は間伐をすることにより、良質材となる。
- 林道、作業道を開設することによって、間伐材が経済価値につながる。

### ヘクタール当たり立木本数の測り方

立木本数（立木密度）知るには、釣り竿を利用すると簡単です。  
方法としては、釣り竿を林内で一回し、釣り竿があたる木の本数を数えます。4mの竿を使ったとすると、一回ししてできる円の面積は、 $4\text{m} \times 4\text{m} \times 3.14 = 50\text{m}^2$ となります。  
1haは10,000m<sup>2</sup>ですから、円内の本数を200倍すると1ha当たりの本数になります。

（参考）体系図に「50m<sup>3</sup>当たり本数」とあるのは、「50m<sup>3</sup>に残す本数」という意味です。林齡35年生で50m<sup>3</sup>当たり6本（1,200本/ha）あつたとすれば、体系図で50m<sup>3</sup>当たり本数は4本（800本/ha）ですから、その山は6本に2本（3本に1本）の伐採をするとよいということです。木の成長は山によって違いますので、林齡はあくまでも目安です。平均胸高直径（高さ1.2mの直径）を基準とするとよいでしょう。

昭和二十四年に、林業技術研究普及事業の一環として、林業研究グループの育成に力を入れ、地域林業の振興の担い手として今日に至っています。この林業研究グループは、管内六グループ結成されており、各町のグループの活動を紹介いたします。

## 林業研究グループ



### “森林の担い手として 頑張る林業研究グループ”



杉林のケヤキ植栽

昭和二十四年に、林業技術研究普及事業の一環として、林業研究グループの育成に力を入れ、地域林業の振興の担い手として今日に至っています。この林業研究

グループは、管内六グループ結成されており、各町のグループの活動を紹介いたします。



## 林業研究グループ

山居茂会長、十九名会員で、毎年、会員所有山林の保育状況を視察し、お互いの意識啓発を図る。

村岡森林整備事務所の指導により、間伐講習会を実施し、一般林家にも参加を呼びかけ、間伐の重要性を訴えると共に、ナメコ、ヒラタケなど植菌の榤木を道の駅で、直売してグループ活動資金を捻出

進地を視察しました。

優良材生産と作業道の開設、ケヤキ等の広葉樹の植栽などを目標にして、活動を行っています。

### 今後の課題として

本町では、放置されたモウソウ竹が繁茂して山に入れない状態の竹林が数多く見受けられることから、竹の侵入防止策を検討する。竹林の活用を図るために、浄化作用や調湿性能に優れた、竹炭の製造に関心を抱いている。

高橋延尚会長（会員二二名）、活動としては、毎年総会後、会員の所有する山林を視察し、経営方針などの意見交換を行い会員相互の技能等の習得や意識向上を高める講習会や見聞を広めるために、本年は、ケヤキの植林、育成、丹後炭生産等の先



ブナの榤木にナメコ菌の植菌の実演

林業先進地視察を行い、会員の森林技術の向上のため毎年実施しており、本年は岡山県西粟倉村の収入間伐による作業道の開設について研修しました。

平成十二年に、全国林業研究グループ連絡協議会長賞として優秀グループ活動の成果について受賞している。



## 林業研究グループ



井上孝会長（会員九名）平成十五年

年は、会員が高齢のために脱退者が増え、本年度活動の重点として、新加入のグループ員を募ることである。

グループの活動として、林業技術の向上を図るために、「林業新知識」を全員に無料配布をしている。小代

特別母樹林が、町内にあるために、優良なスギ林を育成するために間伐推進に力を入れている。小代

先进地の視察は、管内の模範林を見ることによって、育林の参考にしている、本年は香住町林研グループ



50年生ヘクタール当800本の林分

森林技術の向上のため毎年実施しており、本年は岡山県西粟倉村の収入間伐による作業道の開設について研修しました。

平成十二年に、全国林業研究グループ連絡協議会長賞として優秀グループ活動の成果について受賞している。



高橋会長の所有林スギ、ケヤキの混交林を視察しました。

グループ員が、それぞれの集落で、森林のリーダーとなるよう、技術の見聞を広めるために、本年は、ケヤキの植林、育成、丹後炭生産等の先



村岡町小谷滋賀子さん所有山林視察

中村美好会長（会員十三名）「海の町」浜坂町では、林業に熱心な会員が多く、針葉樹スギ、ヒノキばかりの林業経営から、将来広葉樹林が有望な時代となるとの見知から、針広混交林の生産を目指して取り組んでいるグループである。

本年は、研修として愛媛県の広域久万森林組合の木材流通加工基地並びに、復層林施業の森林を視察しました。

グループ員の合い言葉は「山は海の恋人である。」広葉樹林の見直しによつて、海に魚を増すことが、「海の町」浜坂町における課題として挑戦している。

中村美好会長（会員十三名）「海の町」浜坂町では、林業に熱心な会員が多く、針葉樹スギ、ヒノキばかりの林業経営から、将来広葉樹林が有望な時代となるとの見知から、針広混交林の生産を目指して取り組んでいるグループである。

## 林業研究ぐるーپ



## 林業研究ぐるーپ



## “杉塾”

小幡導孝会長（会員十八名）将来到来する国産材時代に備え、健全なる森林の育成、優良材の生産を目指して、間伐、枝打講習会を開催したり、町外の林業地へ出向き研修している。本年は、鳥取県智頭林業地で長伐期・大径木優良材生産を目標にしている集約的施業を学ぶ。又管内

のスギ七十一年生の収入間伐（林内作業道を併設しながら間伐する方式）の現地視察をして、林業技術と林業経営の向上を図りながら、各種研修会等に積極的に参加している。

中村優会長、十三人温泉町八田地域の住民らで、三年前に結成された林研グループである。

活動の目的は、ケヤキの種苗生産や苗の植樹などに取り組み、針葉樹スギ、ヒノキだけでなく、広葉樹林にすることを考えている。

昨年に、但馬産ケヤキの優良母樹から採取した種を育て、この春に床替えて一、二歳ほどに成長した「前一号」「同二号」「朝来二号」と名付けた二年生苗木五〇〇〇本余り育成する。

母樹の指定があるため、各地からの注文があり、これらを通じて交流を図りたい。

註、ケヤキの品種「前〇号」の「前」は、温泉町前地区の名称で、この母樹から採取している。

今後はケヤキだけでなく、ミズメ、キワダ等の苗木生産する。



鳥取県智頭林業地視察



ケヤキの母樹視察

## けやき塾ぐるーپ



## 林業研究ぐるーپ 交流研修会

十二月二日北但・西部森林組合会議室で、北但・西部管内六グループの林業研究グループ交流研修会が行われた。グループ員二〇名、県村岡森林整備事務所職員と町職員等一〇名がオブザーバーとして参加。世話役の村岡林研山居茂会長から挨拶し、各林研グループ活動状況を報告し、意見交換をする。

現地研修として、兎塚杉母樹、地域産利用施設「ハチ北温泉」、同施設「射添中学校屋内運動場」の木材利用施設を視察しました。

各町の林業研究グループへ加入する。各町の林業研究グループへ加入する。各町の林業研究グループへ加入する。

## 平成十五年 春の叙勲

### 「勲六等瑞宝章」



去る五月八日、皇居に於いて叙勲の伝達式が行われ、「勲六等瑞宝章」が授与されました。

### 主な功績

地元の学校を卒業すると同時に農業の農林業に従事する傍ら、素材生産の技術を身に付け、昭和四十六年に広域合併した北但西部森林組合の作業班長に採用される。組合に採用される以前に取得した、知識・経験を高く評価されて、林産班長に抜擢され、素材取扱量を大幅に伸ばすなど販売事業の拡大に尽力すると共に、素材生産に必要な林業架線作業主任者免許など、各種資格の取得、高性能林業機械の習熟した操作により、広域林業の活性化と危険度の高い木材生産の技術者の養成、指導に情熱を燃やし、中堅作業班員を多数育成された功績による授賞であります。

今後益々ご健康に留意していただ事を期待します。

## 大好き・花づくり

花いっぱい運動の取り組み  
花のある暮らしを楽しもう



花はいろいろな楽しみ方を私たちに教えてくれます。窓辺にいっぱい、ベランダいっぱい、庭いっぱい、花を育て、飾つたり、アレンジしたり

挿木などで花を種まき、ます。種まき、

花は好きなのですが、庭がない、庭が狭いと言われる方がよくおられます。でも、あきらめてしまうのは、少し早すぎませんか。窓辺やベランダ、玄関へのアプローチは、もちろん坪なども、工夫しだいで立派なミニ花壇が楽しめます。

花は好きなのですが、庭がない、庭が狭いと言われる方がよくおられます。でも、あきらめてしまうのは、少し早すぎませんか。窓辺やベランダ、玄関へのアプローチは、もちろん坪なども、工夫しだいで立派なミニ花壇が楽しめます。

挨拶のあと、各町代表五人がそれぞれ、緑の大切さの誓いの言葉を発表し、各町の町長と記念植樹をし、式典は終わりました。

式典終了後、木工クラフト作りに挑戦し、輪切り板や丸棒、枝を使ってネームプレート、

木の動物、マツボックリ人形づくりをしてみました。

木の動物、マツボックリ人形づくりをしてみました。来年は村岡町の予定です。



## 緑の少年団交流大会

八月六日管内五町の小学校で結成されている、緑の少年団（十五団、二百五十人）の参加で温泉町丹土県立但馬牧場公園で行われた。今回で十四回目を迎え、開催町である馬場温泉町長が、森の大切さについて、

注 森林組合合併により、出資証券

の名義が重複している人もおりますので、この際に統合することをお願いします。

### 組合員の名義変更について

組合員の名義が、死亡した祖父、父等の名義になつていませんか。

山林所有者が相続されても名義変更されておりませんので、もう一度出資証券をご確認いただき、名義変更の手続きをお願いします。

手続きにつきましては、現在お持ちの出資証券と印鑑をご持参していただければ、本所又は支所で手続きをいたします。

## 作業員の募集

自然の中で働いて見ませんか。  
森林組合では現場作業員の募集をしています。

健康で体力に自信のある人

山林労働の経験者で、希望される人は本所または支所へお問い合わせ下さい。

● お願い ●  
組合（広報）等に、ご意見がありましたら、ご連絡下さい。

## 編集後記

◇「しんりん」の発行回数が、二桁になりました。読んでいただける広報

にするために、神経を使いました。昨年は異常気象の影響で、盆の十四日には石油ストーブの厄介になつた家もあった。その後、例年以上の暑さになり、地球全体がどうなつてゐるのか案じられる。健全な森林を育てることで、温暖化防止に貢献したい。

◇昨年の干支は、「羊」。羊年はメー走（羊のなき声はメー）の年とも言われ、過去を辿ると戦争のない年は（昭和になつて）昭和三十年だけである。

本年は、景気のいい年であるよう期待し、組合員のご多幸を祈念申し上げます。